

「IMAO M/C SOLUTIONS」の一翼担うベリカット

■ どのように使われていますか？

治具の設計段階から実加工の手前までの作業に関して、各段階で最適なソフトを用いることにより、機内デバッグ(※)レスを、実現した自社システム「IMAO M/C SOLUTIONS」のなかの加工シミュレーション部分をベリカットが担っています。システム自体は、実際に治具ベースの製造向けに、美濃工場で運用しており、大きな成果を上げています。

■ 「ベリカット」の魅力は。

最初は、難しくてとつつきにくいソフトかと思いましたが、実際使ってみて、本当に良いソフトだと実感できました。機械のなかでのデバッグ作業ではなく、機械で加工して問題ない部分までのデバッグ作業が、パソコン上で出来るのは本当に大きなメリットです。現場全体に安心感を教えてくれています。

■ 「ベリカット」のおすすめの機能は？

オートディフ(比較検査)でしょうか。CAM上の設計モデルと、ベリカットが切削プロセスをシミュレーションした製造モデルとを比較し、自動的に相違点を検出することができる機能です。削り残しや位置間違い、タップの加工忘れなどを見つけてくれるので、とても便利、社内的に大変重宝している機能です。

■ 今後、「ベリカット」に求めたいことは。

形状に関しては、ベリカットで安心して機械を動かせますが、素材形状による切削抵抗やビビリなどの発生は、オペレータについて見ていないといけません。例えば切削抵抗値とかを見られるような解析機能が付くと便利だなと感じます。それとベリカットには、自分達は知らないけれど、便利な機能や使い方があると思うので、新しい活用方法を積極的に提案してもらえると嬉しいですね。

■ ご検討中のユーザーへメッセージを。

データを一括出力もできますし、マクロを検証できる機能もありますから、マクロを使いこなせるユーザーにも安全に使えるシステムがベリカットです。カスタマイズもできるし、何か特殊な加工をしているから、ということではなく、機械をぶつけたりしないためにも必要不可欠なソフトでしょう。ベリカットは、安心して機械を動かせる<シミュレーションソフト>のパイオニア、導入して間違いないソフトだと思います。

※デバッグーコンピュータプログラムの誤りを除去すること



Value Creator

IMAO

<http://www.imo.co.jp/>

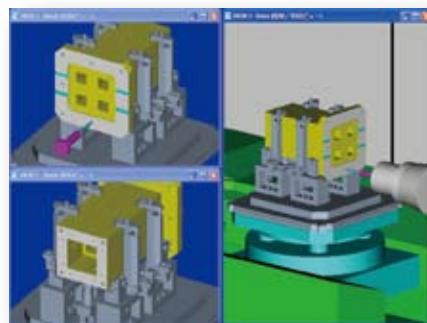
回答者
株式会社イマオコーポレーション
製造部一課主任
櫻井 浩二 氏

■ Profile

入社以降、CAM販売の経験を経て製造畑へ。現在美濃にある、治具ベースの製造加工工場で、設計から製造までを連絡させた独自システム「IMAO M/C SOLUTIONS」の運用を担当。主にプログラムの作成、シミュレーションなどを実施し、イマオの製造現場および自社ソフトの販売、研究開発を支えている。



弊社は、主な事業の一つとしてマシニングセンタ等工作機械で使用する治具を“標準治具”として製造販売しております。また、お客様の仕様に合わせた特殊治具ベースの製作も行っております。



画像提供：株式会社イマオコーポレーション

■ ベリカットとは

NCプログラムに基づく実機運転に先立ち、工具や機械の干渉、加工中に発生する潜在的な不具合をシミュレーションによって事前に発見するソフトウェア。

VERICUT